

校長	教頭	教頭

科目名	課題研究			教科名	工業（電気科）
学年	3年	単位数	3単位	担当者氏名	印

1 科目「課題研究」について

学習の到達目標	工業高校に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
使用教科書	

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
工業的な事柄に関心を持ち、自主的・主体的・意欲的に取り組んでいる。	工業的な事柄を分析的・総合的に考え、事実に基づき科学的に判断できる。	工業的な事柄を科学的に探求でき、過程や結果を的確に表現できる。	工業的な事柄についての原理・法則を理解し、知識を身につけている。
具体例 出席状況、平常の学習活動、課題に取り組む意欲・態度、自己評価	計画、設計、製作 観察力、問題解決能力 作業実践能力	各種工具・機器等の活用能力、 作業過程、作品の出来具合、 成果、発表内容、発表力、 発表態度	課題日誌、作品、成果 職業資格取得については模擬 試験本試験結果

3 観点別学習状況の評価の数量化

評価	内容	判定基準	得点
A	十分に理解できると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

※判定基準、得点は各教科・各科で検討し設定。

※評価簿の作成を行う。（例：4観点別評価簿及び実際評価簿については別紙）

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。

評価内容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの	85～100	5
十分満足できると判断されるもの	70～84	4
おおむね満足できると判断されるもの	55～69	3
努力を要すると判断されるもの	35～54	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

科目名	課題研究			教科名	工業(電気科)
学年	3年	単位数	3単位	担当者氏名	印

校長	教頭	教頭

学期	月	時間	学習内容	学習目標	学習内容(評価の観点)及び ※留意点	評価方法・指導	補助教材
1	4	3	(1)作品製作 (2)職業資格の取得 を内容とする課題とし、	A班:エコデンカーの製作 ・自動車交通におけるクリーンエネルギーの探求とその有効利用を目的として製作に取り組む。	課題研究オリエンテーション/班編制(関) ※次週以降 安全に対する心構えに注意し、必ず実習服を着用し、ベルト・ボタンを必ずすることを指導	・行動観察 課題への取り組み 関心、意欲、態度 思考、判断、技術力、知識、理解力 ・工具や機器の活用 ・安全作業	
		6	具体的に (1)作品製作として ・エコデンカーの製作 ・デジタルビデオ編集 ・ロボットの製作	B班:資格取得 ・電気工事施工技術者試験の学習を通して、学習の方法を体得し、専門的な知識や技術を修得する事で進路意識を高める。	A班:基礎知識(関・思・知) B班:基礎研究 情報収集(関・知) C班:素材集め確認(関・知) D班:基礎知識(関・思・知・技)		
	5	12	(2)職業資格の取得 として ・資格取得 を設定し研究する。	C班:デジタルビデオ編集 ・ビデオカメラで撮影した映像をパソコン、ビデオデッキを用いて編集し、オリジナルのビデオを制作する。	A班:基礎知識(関・思・知・技) 情報収集(関・思・知・技) B班:資格取得と進路の関係研究(関・知) 学習方法の研究(関・思・知) C班:素材集め確認(関・知) ビデオキャプチャーの方法(知・技) D班:基礎知識(関・思・知・技) 班討議(関・思・知・技) 作品設計(関・思・知・技)	・行動観察 課題への取り組み 関心、意欲、態度 思考、判断、技術力、知識、理解力 ・工具や機器の活用 ・安全作業	
	6	12	D班:ロボットの製作 ・コンピュータにセットしたプログラムで動く(自立型)とラジコンで操作する2種類のロボット(相撲)を製作して、大会に出場する事を目標の1つにして取り組む。	A班:情報収集(関・思・知・技) 設計・試作(関・思・知・技) B班:情報収集および学習(関・思・知) C班:ビデオキャプチャーの方法(知・技) 編集ソフトの使用法と練習(知・技) D班:作品設計(関・思・知・技)			
7	6			A班:設計・試作(関・思・知・技) B班:情報収集および学習(関・思・知) C班:編集ソフトの使用法と練習(知・技) D班:みなおし(関・思・知・技) 修正、部品調達(関・思・知・技)	・行動観察 課題への取り組み 関心、意欲、態度 思考、判断、技術力、知識、理解力 ・工具や機器の活用 ・安全作業		
1学期の評価方法			定期考査は行わず、観点別評価(出欠、課題に対する態度、安全に対する心構え、日誌)や作品を数量化点(100%)とする。但し、規程の授業時数に達しない生徒は評価保留とする。				

シラバス

科目名	課題研究			教科名	工業(電気科)
学年	3年	単位数	3単位	担当者氏名	印

校長	教頭	教頭

2/3

学期	月	時間	学習内容	学習目標	学習内容(評価の観点)及び ※留意点	評価方法・指導	補助教材
2	9	9	(1)作品製作 (2)職業資格の取得 を内容とする課題とし、	A班・エコデンカーの製作 ・自動車交通におけるクリーンエネルギーの探求とその有効利用を目的として製作に取り組む。 B班・資格取得	A班:改良 日程調整(関・知・技) 作品製作(関・思・知・技) B班:情報収集および学習(関・思・知) C班:編集ソフトの使用方法和練習(知・技) D班:修正、部品調達(関・思・知・技)	・行動観察 課題への取り組み 関心、意欲、態度 思考、判断、技術力、知識、理解力 ・工具や機器の活用 ・安全作業	
	10	12	具体的に (1)作品製作として ・エコデンカーの製作 ・デジタルビデオ編集 ・ロボットの製作 (2)職業資格の取得 として ・資格取得 を設定し研究する。	・電気工事施工技術者試験の学習を通して、学習の方法を体得し、専門的な知識や技術を修得する事で進路意識を高める。 C班・デジタルビデオ編集 ・ビデオカメラで撮影した映像をパソコン、ビデオデッキを用いて編集し、オリジナルのビデオを制作する。 D班・ロボットの製作 ・コンピュータにセットしたプログラムで動く(自立型)とラジコンで操作する2種類のロボット(相撲)を製作して、大会に出場する事を目標の1つにして取り組む。	A班:作品製作(関・知・技) B班:情報収集および学習(関・思・知) C班:編集ソフトの使用方法和練習(知・技) 作品構成(関・思・知・技) 作品製作(関・思・知・技) D班:修正、部品調達(関・思・知・技) 試作(関・思・知・技)	・行動観察 課題への取り組み 関心、意欲、態度 思考、判断、技術力、知識、理解力 ・工具や機器の活用 ・安全作業	
	11	12			A班:作品製作(関・知・技) B班:情報収集および学習(関・思・知) C班:作品製作(関・思・知・技) D班:試作(関・思・知・技) みなおし(関・思・知・技)	・行動観察 課題への取り組み 関心、意欲、態度 思考、判断、技術力、知識、理解力 ・工具や機器の活用 ・安全作業	
	12	9			A班:作品製作(関・知・技) B班:情報収集および学習(関・思・知) C班:作品製作(関・思・知・技) D班:改良・調整(関・思・知・技)	・行動観察 課題への取り組み 関心、意欲、態度 思考、判断、技術力、知識、理解力 ・工具や機器の活用 ・安全作業	
2学期の 評価方法			定期考査は行わず、観点別評価(出欠、課題に対する態度、安全に対する心構え、日誌)や作品を数量化点(100%)とする。但し、規程の授業時数に達しない生徒は評価保留とする。				

科目名	課題研究			教科名	工業(電気科)
学年	3年	単位数	3単位	担当者氏名	印

校長	教頭	教頭

3/3

学 期	月	時 間	学習内容	学習目標	学習内容(評価の観点)及び ※留意点	評価方法・指導	補助教材
3	1	12	(1)作品製作 (2)職業資格の取得 を内容とする課題とし、 具体的に (1)作品製作として ・エコデンカーの製作	A班・エコデンカーの製作 ・自動車交通におけるクリーンエネルギーの探求とその有効利用を目的として製作に取り組む。 B班・資格取得 ・電気工事施工技術者試験の学習を通して、学習の方法を体得し、専門的な知識や技術を修得する事で進路意識を高める。 C班・デジタルビデオ編集 ・ビデオカメラで撮影した映像をパソコン、ビデオデッキを用いて編集し、オリジナルのビデオを制作する。 D班・ロボットの製作 ・コンピュータにセットしたプログラムで動く(自立型)とラジコンで操作する2種類のロボット(相撲)を製作して、大会に出場する事を目標の1つにして取り組む。	A班:作品製作(関・知・技) 調整(関・思・知・技) B班:情報収集および学習(関・思・知) C班:作品製作(関・思・知・技) 試写会(関・思・知) D班:改良・調整(関・思・知・技)	・行動観察 課題への取り組み 関心、意欲、態度 思考、判断、技術力、知識、理解力 ・工具や機器の活用 ・安全作業	
		2	9	・デジタルビデオ編集 ・ロボットの製作 (2)職業資格の取得 として ・資格取得 を設定し研究する。	A班:調整(関・知・技) まとめ発表準備(関・思・知・技) B班:情報収集および学習(関・思・知) まとめ発表準備(関・思・知・技) C班:調整(知・技) まとめ発表準備(関・思・知・技) D班:改良・調整(関・思・知・技) まとめ発表準備(関・思・知・技)	・行動観察 課題への取り組み 関心、意欲、態度 思考、判断、技術力、知識、理解力 ・工具や機器の活用 ・安全作業	
	3		課題研究発表会	電気科3年生が自ら取り組む課題を自ら決定し、課題解決に至るまで、1年間を通してどのような活動を行ってきたか、また自らの研究内容を他の人にどのように伝えるか、プレゼンテーションの場を設定し、発表力を高める事を目的とする。	A班:エコデンカーの製作発表(関・思・知・技) B班:資格取得発表(関・思・知・技) C班:デジタルビデオ編集発表(関・思・知・技) D班:ロボットの製作発表(関・思・知・技)	・行動観察 発表への取り組み 関心、意欲、発表態度、発表力	
3学期の 評価方法			定期考査は行わず、観点別評価(出欠、課題に対する態度、安全に対する心構え、日誌)や作品、成果(職業資格取得については模擬試験、本試験結果も考慮)及び発表を数量化点(100%)とする。 但し、規程の授業時数に達しない生徒は評価保留とする。				
学年の 評価方法			1学期、2学期、3学期の評定平均を求め、5段階に評定する。				